

県外派遣報告書

審判員名	土屋 友由	所属	クラブ連盟
大会名	平成28年度関東クラブバスケットボール選抜大会		
期間	平成28年 8月 27日 ~ 平成28年 8月 28日		
会場	武蔵野総合体育館・小金井市総合体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月27日(土)	開講式・実技	武蔵野総合体育館 小金井市総合体育館	
8月28日(日)	机上講習・観戦研修・閉講式	武蔵野総合体育館	
会議 講義 内容			
<p>机上講習:「審判を担当する上での準備と常に心掛けていること」講師:久保 裕紀氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段(日ごろ)の審判活動を徹底してやる。 ⇒オフィシャルズ・マニュアルP.243「付録:ゲーム前の話し合い」の中で書かれていることは、知っている人がほとんどであるし、当たり前だと思われるが、実際はほとんどの人が出来ていない。だからこそころした細かいところまで突き詰めて徹底してやるのが大事である。 自分は出来ていると思っていても、実際は出来ていないということもあるので、ミスマッチを減らす努力が必要(ビデオで自分のレフリー姿を撮るなどして、ギャップを減らす)。 ・オンザコートで吹くときは、常にプレイを観客席から見ているように俯瞰してみることで、自分自身を常に冷静にコントロールする。 ⇒レフリーは、プレイヤーやゲームをコントロールするもの。まずは自分自身をコントロールするのは当たり前。レフリーは、ゲーム中何かがあった際には必ず対応をしなければいけないという覚悟を持って、常に様々な予測できる状況を考えてオンザコートに臨む(最悪の状況を想像することで、余裕が生まれるようになる)。 ・もちろん審判は判定することが一番大事。しかし、上記2つのような当たり前のことと、自分をコントロールすることを判定と同様に大切にしておく。 ⇒観客やプレイヤー、ベンチ、審判仲間などバスケットに関わる全ての人を含めて、80パーセント程度の人認めてくれるような取り組みと当たり前にするべきことを徹底して出来るかどうかを上級に上がるためには必要。 ・判定については、決してブラインドからは吹かない。⇒あらゆる人から信頼を失う。 ・辛いゲームでも決して逃げない。自分から逃げず、強さをもつ。 ⇒強さを持つために、当たり前のことを正しく行い、1つ1つの判定にエネルギーを注ぐことでプライドや気概に繋がる。正しいプライドを持つこと。 			
実技			
担当試合	期 日	8月27日(土)	男子1回戦
	対戦カード	群馬町クラブA(群馬2) VS エクセレンス(東京1)	副審
	相手審判	新谷 一経(千葉)	主任 曾淵 泰久氏(栃木県S級 国際審判員)

ミーティング内容

・全体としてはお互いにプレイヤー10人と相手審判員を視野に入れ、協力してゲームを運営している印象で非常に良かった。
・今日のゲームは何とか荒れることなくレフリーが踏ん張ってまとめられていた。これがレベルの高いゲームになった際も出来るかが本当の力なので、今日に満足せず、これからも頑張っ
て欲しい。

・個人としては、前半は非常に良い判定が多くあったが、後半3.4Qにかけてリードでゴール下の中に入りすぎてしまって判定できないものが多かった。
・吹き上げたものと、レポートしているファウルの種類が違う時がある。こだわって審判をしているからこそ、そこにもこだわってほしい。
・プレイヤーとのコミュニケーションをとる際、毅然とではなくプレイヤーがレフリーより優位に立ってしまうような雰囲気がある(主にプレイヤーとの距離が近いとき)。コミュニケーションをとることは悪いことではないが適切にとれるように今後、工夫が必要である。

全体の感想

今回、初めて関東選抜に参加させていただき、関東のクラブ連盟に所属する方々と交流を深めることができ良い経験が出来ました。また全国クラブに向けて割り当てをもらう厳しさ、切磋琢磨できる環境に今までにない刺激を受けました。

私自身、初日のみで割り当てが終わってしまい、とても悔しい思いをしましたが、自分に今足りないものと強みがわかり、今後さらに上を目指すために何が必要なのか、どうすれば上級に上がれるのかが分かった2日間でした。今後は、今回の経験で得たものをオンザコートで発揮できるようになるのはもちろんのこと、埼玉県に帰って還元できるよう努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

最後になりましたが、今回講習会を準備していただいた東京都クラブ連盟の皆様をはじめ、講師の皆様、推薦いただきました埼玉県クラブ連盟の皆様にご感謝申し上げます。本当にありがとうございました。